

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	新所沢コミュニティセンター施設提供事業	所管	市民経済部 新所沢コミュニティセンター
			Tel 2928-8411

事業の目的 (何の為に 行うか)	コミュニティ活動をしようとする、市民の集団利用に、集会施設(会議室)を提供することにより、コミュニティ活動の充実を図るものである。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	コミュニティ活動をしようとする市民の集団利用者。(一部対象外者への施設提供もあり)	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	32,023	人

活動の内容 (何を したか)	①公共施設案内・予約システムによる集会施設の利用案内並びに提供。 ②定期的目的内利用者を団体登録し『公共施設利用者カード』の発行による予約機会の拡充。 ③登録団体の一覧表作成並びに希望者への配布。 ④出張所窓口にて目的外利用者や、団体登録をしていない利用者の予約受付。								
	活動実績	項目名	年間施設利用可能回数	6228	項目名	施設利用人数	3634	項目名	年間施設稼働率
			単位 回			単位 回			単位 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	40,703	36,107	51,607	152.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年間施設稼働率	年間利用回数 ÷ 年間施設利用可能回数	80 単位 %	59 単位 %	73.8 単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし その他 [] 終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	030302	TEL	2928-8411
事業コード	新所沢コミュニティセンター施設提供事業		市民経済部 新所沢コミュニティセンター			
030302	開始年度 昭和 63 年度 → 終了年度 平成 年度					

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市コミュニティセンター条例・所沢市コミュニティ会館条例			
	関連・類似事業	各公民館施設提供事業(各公民館)生涯学習センター施設提供事業(生涯学習センター)			
	総合計画の体系	政策	第7章 人々がふれあう温かいまち	施策	1節 地域コミュニティ
		中柱	1 新たな地域コミュニティの構築	小柱	(2)活動拠点と支援体制の整備充実
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 7 位			
		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード			
	1221	地域コミュニティの拠点整備	コード	コード	
	事業開始の背景	市民の方がふるさと所沢の住み良いまちづくりを進めるため、新所沢出張所、老人福祉センター緑寿荘、みどり児童館と相補いながら、コミュニティ活動の機関施設となるよう、3つの集会所が開設された。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	コミュニティ活動をしようとする、市民の集団利用に、集会所(会議室)を提供することにより、コミュニティ活動の充実を図るものである。			
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方			
	コミュニティ活動をしようとする市民の集団利用者。(一部対象外者への施設提供もあり)	会議室を利用した延べ人数			
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人
			平成 19 年度	339,058	人
			平成 18 年度	33,879	人
			平成 19 年度	32,023	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	①公共施設案内・予約システムによる集会所の利用案内並びに提供。 ②定期的目的内利用者を団体登録し『公共施設利用者カード』の発行による予約機会の拡充。 ③登録団体の一覧表作成並びに希望者への配布。 ④出張所窓口にて目的外利用者や、団体登録をしていない利用者の予約受付。			

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	平成19年度中に改善した点	施設の老朽化に伴う、施設の外壁工事を行った。 会議室の空き状況を掲示板に掲示した。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		21,194	40,703	22,770
	決算 (見込み含む)		19,668	36,107	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	1.65 人	15,180	1.65 人	15,500
	公債費				
	事業費合計		34,848	51,607	
	財源内訳	一般財源	34,848	51,607	22,770
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		103.1	152.2	
	利用者一単位あたり(単位:円)		1,028.6	1,611.6	

⑥指	活動実績	年間施設利用可能回数	1日6区分×会議室数×会館日数	回	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
		施設利用人数	年間延べ利用回数	回	6,210	6,228			
		年間施設稼働率	年間利用人数	人	3,045	3,634			
	成果分析	年間施設稼働率	年間利用回数÷年間施設利用可能回数	%	目標値	80	80	80	
				%	実績	49	59		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
				%	達成率	61.3	73.8		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題		・インターネットからの予約が可能にもかかわらず、窓口申請が多く、予約システムの利用率が低い。 ・施設の老朽化により修繕が必要な箇所が多数見受けられる。		
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	公共予約システムの利用方法の周知 安全で使いやすい施設の提供	団体登録をしているサークルに対し、文書等での案内をし、個別対応も含め、予約の際の公共予約システムの利用率をあげる。 老朽化に伴う施設修繕について、安全性・必要性に応じた修繕を行う。	平成21年3月 平成21年3月	
平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
当施設は、利便性の面からも、地域コミュニティ活動や高齢化の進展による文化学習活動の場としての需要が高まっている。こうしたことから、安全にご利用いただけるよう定期的にメンテナンスを行い、利用者が満足できるような施設運営に努める。					
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	新所沢コミュニティセンター所長 山崎 六郎		

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位… 35 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	貢献度	見込まれる貢献度	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	各センターにおける必要な維持管理をしていく上で不可欠であることから「引き続き実施」と評価した。						
評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	基本目標					
	主要課題					
	施策の方向					